

日興ロックフェラー・ グローバル・エクイティ・ファンド

ロックフェラー社の銘柄選択の着眼点

※ロックフェラーは、ロックフェラー・アンド・カンパニー・インクのサービス商標であり、認可を得た上で使用しています。

本資料では、当ファンドの主な投資対象である「世界株式アクティブマザーファンド」の2016年5月31日現在のポートフォリオをもとに、組入上位銘柄や注目テーマについて、当ファンドの投資顧問会社であるロックフェラー・アンド・カンパニー・インク(以下、ロックフェラー社)からのコメントをご紹介します。

マザーファンドの組入上位銘柄

(組入銘柄数:59銘柄)

	銘柄	国名	業種	比率
1	アルファベット	アメリカ	情報技術	4.0%
2	韓国電力公社	韓国	公益事業	3.7%
3	アップル	アメリカ	情報技術	3.2%
4	日本電信電話	日本	電気通信サービス	3.0%
5	マイクロソフト	アメリカ	情報技術	2.8%
6	JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー	アメリカ	金融	2.8%
7	ハイデルベルグセメント	ドイツ	素材	2.6%
8	ロイヤル・カリビアン・クルーズ	アメリカ	一般消費財・サービス	2.6%
9	VISA	アメリカ	情報技術	2.6%
10	INGグループ	オランダ	金融	2.5%
11	アフラック	アメリカ	金融	2.4%
12	リインシュアランス・グループ・オブ・アメリカ	アメリカ	金融	2.4%
13	キャピタル・ワン・ファイナンシャル	アメリカ	金融	2.3%
14	サフラン	フランス	資本財・サービス	2.2%
15	ノバルティス	スイス	ヘルスケア	2.2%
16	CVSヘルス	アメリカ	生活必需品	2.2%
17	WECエナジー・グループ	アメリカ	公益事業	2.2%
18	ウェルズ・ファーゴ	アメリカ	金融	2.1%
19	コムキャスト	アメリカ	一般消費財・サービス	2.1%
20	シェブロン	アメリカ	エネルギー	2.1%

(2016年5月31日時点)

※上記は、当ファンドの主な投資対象である「世界株式アクティブマザーファンド」の状況です。

※比率は組入株式時価総額比です。

※セクター名は世界産業分類基準(GICS)の10分類に基づきます。

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興ロックフェラー・グローバル・エクイティ・ファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

アルファベット



米国
 <セクター>
 情報技術

<株価>
 703.53米ドル

<時価総額>
 49兆円

(株価、時価総額ともに2016年6月末時点)

<ロックフェラー社の着眼点>

- 世界最大手のオンライン情報サービスプロバイダーである旧「グーグル」が大幅な組織変更に伴って設立した持株会社です。
- IT業界の中でも、M&A(企業の合併・買収)に積極的なことで知られており、今後はロボット技術分野での活躍も期待されています。
- バリュエーションから見て、魅力的な株価水準にあると判断されるほか、経費面において改善の余地は大きいとみられ、潜在的な収益成長性が高いと考えました。

ご参考

旧グーグルが過去に買収したロボット関連企業例

企業名	国名	事業概要
SCHAFT(シャフト)	日本	東京大学発のベンチャー、ヒト型ロボットの開発
インダストリアル・パーセプション	米国	産業用のロボットアームの開発
ポストン・ダイナミクス	米国	4足歩行ロボットの開発
ボット&ドリー	米国	ロボットカメラの開発
ディープマインド・テクノロジーズ	英国	人工知能開発

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

韓国電力公社



韓国
 <セクター>
 公益事業

<株価>
 60,400 ウォン

<時価総額>
 3.5兆円

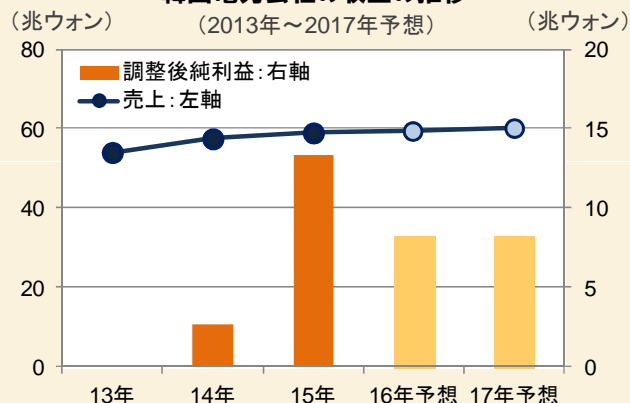
(株価、時価総額ともに2016年6月末時点)

<ロックフェラー社の着眼点>

- 同社は、韓国の電力会社です。韓国国内で発電、送電、配電サービスを提供するだけでなく海外における原子力発電所建設事業にも従事しています。
- 同社では、政府が過半の株式を保有していることなどもあり、電力料金の改定は政府の認可が必要となっています。政府により料金が抑制されていたため、赤字が続いていた時期があったものの、2013年以降、原価に見合った値上げが認められたこと、そして、燃料価格が下落したことなどを追い風に収益が大きく改善しました。
- 最近では、本社移転に伴う所有地売却が、バランスシート改善に寄与しました。

ご参考

韓国電力公社の収益の推移



※2016年~2017年はコンセンサス予想

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

時価総額の円換算レート: 1米ドル=103.20円、100韓国ウォン=8.95円(2016年6月末時点)

※セクター名は世界産業分類基準(GICS)の10分類に基づきます。

上記は、情報提供を目的として2016年5月31日時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、ロックフェラー社の着眼点を日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興ロックフェラー・グローバル・エクイティ・ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

日本電信電話 (NTT)

日本



<セクター>
電気通信
サービス

<株価>
4,800円

<時価総額>
10兆円

(株価、時価総額ともに2016年6月末時点)

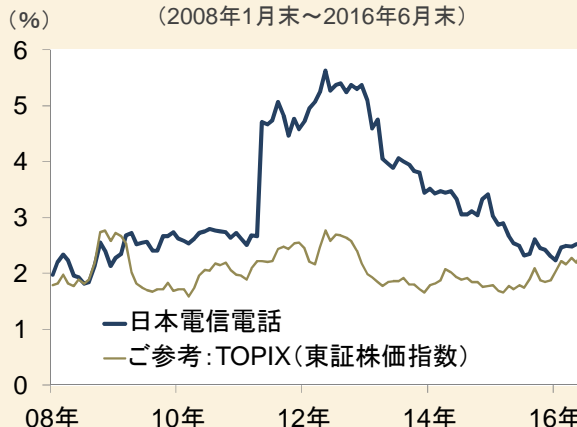
<ロックフェラー社の着眼点>

- 通信サービスの提供に携わっているグループの持株会社です。固定電話網と携帯電話網を通じて、音声・データ通信を提供しているほか、システム統合とネットワークシステムサービスも提供しています。
- 同社は、株主還元方針で他社との差別化を図っています。魅力的な配当利回りを提供しているほか、自社株買いを行なうなど、株主還元が充実しています。また、光ファイバーサービスの卸売形態への移行が販売増とマーケティング費用の削減につながることから、収益力の向上が期待されます。

ご参考

NTTの予想配当利回りの推移

(2008年1月末～2016年6月末)



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー

米国



<セクター>
金融

<株価>
62.14 米ドル

<時価総額>
23兆円

(株価、時価総額ともに2016年6月末時点)

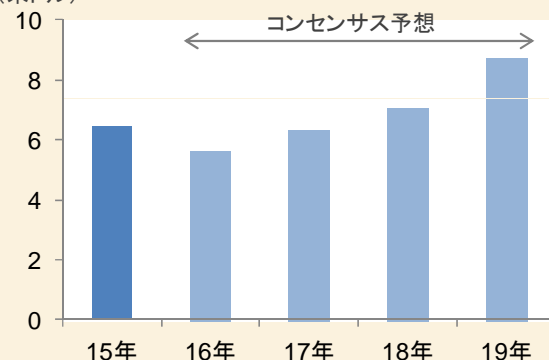
<ロックフェラー社の着眼点>

- 同社は、世界最大級の銀行です。①法人向け銀行業務(コーポレートバンキング)および投資銀行業務、②消費者向け銀行業務および地域銀行業務(コミュニティバンキング)、③商業銀行業務、④資産運用業務、といった4つのカテゴリーで事業を展開しています。
- 同社は、今後、米国における景気回復および利上げによる恩恵を受けると考えられます。
- 特に、米国における個人消費の拡大は、同社のクレジットカードビジネスの追い風になると期待されます。

ご参考

JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーのEPSの推移

(米ドル) (2015年末～2019年末予想)



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

時価総額の円換算レート: 1米ドル=103.20円(2016年6月末時点)

※セクター名は世界産業分類基準(GICS)の10分類に基づきます。

上記は、情報提供を目的として2016年5月31日時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、ロックフェラー社の着眼点を日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興ロックフェラー・グローバル・エクイティ・ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

サフラン

フランス



<セクター>
資本財・サービス

<株価>
60.92 ユーロ

<時価総額>
2.9兆円

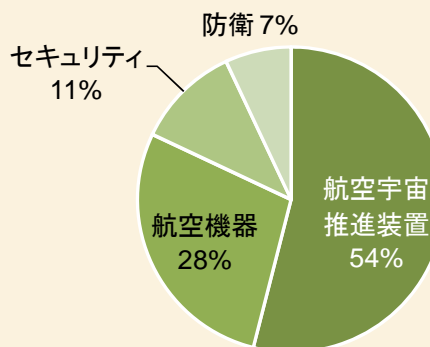
(株価、時価総額ともに2016年6月末時点)

<ロックフェラー社の着眼点>

- 同社は、航空機事業(エンジン・装備)、防衛事業・セキュリティ事業をコアビジネスとする世界有数のハイテク企業です。
- 同社で利益貢献度の高い製品は、米コングロマリット企業との合弁会社で製造している航空機搭載用のエンジンです。世界のナローボディ機(旅客機のうち通路が1本であるもの)のうち、大半が同合弁会社のエンジンを搭載しています。
- 搭載されたエンジンは保守点検が必要であること、そして、保守点検は1回限りで済むものではないことなどを踏まえると、今後は、保守点検サービスが同社の収益拡大に大きく寄与することが期待されます。

ご参考

サフランの売上構成
(2015年)



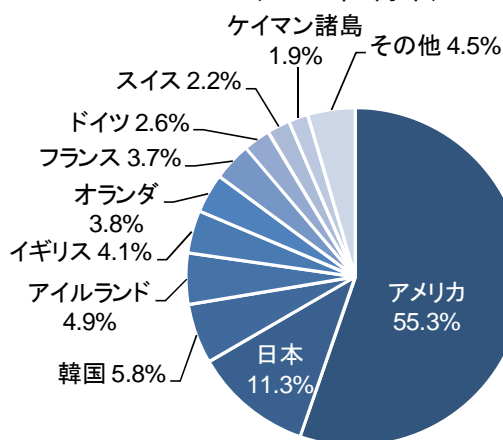
出所: サフラン

時価総額の円換算レート: 1ユーロ=114.61円(2016年6月末時点)
※セクター名は世界産業分類基準(GICS)の10分類に基づきます。

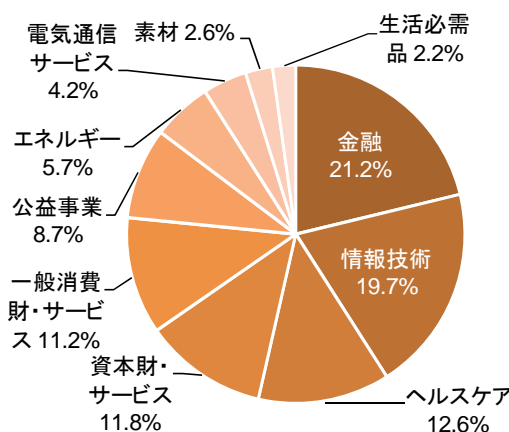
上記は、情報提供を目的として2016年5月31日時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、ロックフェラー社の着眼点を日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

ポートフォリオの概況

国別構成比
(2016年5月末)



業種別別構成比
(2016年5月末)



※上記数値は四捨五入しておりますので、合計が100%とならないことがあります。
※上記は、当ファンドの主な投資対象である「世界株式アクティブマザーファンド」の状況です。
※比率は組入株式時価総額比です。
※セクター名は世界産業分類基準(GICS)の10分類に基づきます。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興ロックフェラー・グローバル・エクイティ・ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

注目テーマについて

ロックフェラー社が注目している主な投資テーマは以下の通りです。

旅行・観光	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経済成長および景気回復などを背景に、所得が増加すると、旅行や観光をする人が増えるというのは、多くの国で見られる傾向です。 ■ 2016年5月末時点のポートフォリオでは、「ロイヤル・カリビアン・クルーズ」(米国)が上位に組入れられていますが、これは、観光需要の増加、そして先進国の高齢化に伴う船旅嗜好の拡大といった長期トレンドの恩恵を受けることへの期待が背景となりました。また、所得増を背景に、中国からのクルージング旅行参加者の増加が見込まれることは、同社にとって明るい話題と考えられます。
ライフサイエンス (医療関連の需要拡大など)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活が豊かになるにつれ、健康や長生きへの願望が強くなるのは、世界共通と言えるでしょう。 ■ 2016年5月末時点のポートフォリオでは、総合医薬品企業の「ノバルティス」(スイス)が組入上位となっています。同社は、特許を多く持っており、収益に比較的安全感があることが魅力と考えられます。 ■ ロックフェラー社では、医学博士であり経営博士でもある知識豊富なアナリストが、専門性の高いライフサイエンス分野の銘柄分析を担当しています。
テクノロジー (eコマース、SNSの普及など)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 技術革新は引き続き、既存ビジネスに対して新しい風をもたらすとみています。 ■ 2016年5月末時点のポートフォリオでは、2ページでご紹介している「アルファベット」(米国)のほか、「アップル」(米国)などが組入上位となっています。高いブランド力で知られる「アップル」は、携帯分野を主戦場とする革新的な世界有数のハイテク企業であり、今後もインストールベースによるソフトのアップグレードなどを通じてフリーキャッシュフローを生むとみられ、市場シェアのさらなる拡大が期待されます。
金融関連	<ul style="list-style-type: none"> ■ 金融機関は、経済成長に向けた潤滑油としての役割を果たし続けると考えられます。リーマン・ショック後、多くの金融機関は資本増強を行なっているものの、市場はそれを過小評価しているとみられます。 ■ 2016年5月末時点のポートフォリオでは、3ページでご紹介している「JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー」(米国)のほか、欧州大陸で銀行業務を展開する「INGグループ」(オランダ)などが組入上位となっています。「INGグループ」は、世界的な金融危機の際に受けたオランダ当局からの支援の見返りとして、保険事業を売却するなど、ここ数年間で大幅な事業再構築を行なってきました。その結果、商業銀行業務とリテール銀行業務に注力するようになっています。
インフラ関連	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中国のほか、様々な国で、インフラのアップグレード需要があるとみています。米国だけでも、老朽化に伴うインフラ需要が3兆米ドル以上と見込まれています。2016年5月末時点のポートフォリオでは、世界第4位のセメントメーカーである「ハイデルベルグセメント」(ドイツ)などに注目しています。

※上記は、当ファンドの投資対象を限定するものではありません。

上記は、情報提供を目的として2016年5月31日時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、ロックフェラー社の着眼点を日興アセットマネジメントがまとめたものです。**上記銘柄・セクターについて、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。**

■当資料は、投資者の皆様へ「日興ロックフェラー・グローバル・エクイティ・ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1 世界の株式を投資対象とし、国や地域にとらわれず、魅力的と判断されるテーマや銘柄を広く追求します。

2 富裕層の資産運用で実績を積み重ねてきたロックフェラー社が運用を担当します。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様のご投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

**【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】
【有価証券の貸付などにおけるリスク】**

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などをSMBC日興証券よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お 申 込 め ち

商品分類	追加型投信／内外／株式
ご購入単位	分配金再投資コース (新規購入時)10万円以上1円単位 (追加購入時)1万円以上1円単位 分配金受取りコース (新規購入時)10万口以上1万口単位 (追加購入時)1万口単位 ※別に定める場合はこの限りではありません。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。 ※詳しくは、SMBC日興証券にお問い合わせください。
信託期間	2025年5月20日まで(2015年6月23日設定)
決算日	毎年5月20日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、換金請求の受付は行ないません。 ※詳しくは、SMBC日興証券にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

委 託 会 社 、 そ の 他 関 係 法 人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
投資顧問会社	ロックフェラー・アンド・カンパニー・インク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	SMBC日興証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

<p>購入時 手数料</p>	<p>SMBC日興証券での購入時手数料率は以下の通りです。 購入価額に、購入口数、購入時手数料率を乗じて得た額です。購入時手数料率はお申込金額に応じて下記のように変わります。 (お申込金額はお申込代金に購入時手数料(税込)を加えて得た額です。)</p> <p>1億円未満…………… 3.24%(税抜3.00%) 1億円以上5億円未満…………… 1.62%(税抜1.50%) 5億円以上10億円未満…………… 0.81%(税抜0.75%) 10億円以上…………… 0.54%(税抜0.50%)</p> <p>※別に定める場合はこの限りではありません。</p> <p>【ご注意ください】</p> <p><分配金受取りコースの購入時手数料></p> <p>購入時手数料は、購入価額に、購入口数、購入時手数料率を乗じて計算します。 例えば100万口の口数指定でご購入いただく場合、1万口当たり基準価額が10,000円、購入時手数料率が3.24%(税込)とすると、 購入時手数料=100万口×10,000円÷10,000×3.24%=32,400円となり、 合計1,032,400円をお支払いいただくこととなります。</p> <p><分配金再投資コースの購入時手数料></p> <p>購入時手数料は、購入価額に、購入口数、購入時手数料率を乗じて計算します。 例えば、お支払いいただく金額が100万円の場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当該投資信託のご購入金額となるものではありません。</p>
<p>換金手数料</p>	<p>ありません。</p>
<p>信託財産 留保額</p>	<p>ありません。</p>

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

<p>信託報酬</p>	<p>純資産総額に対して年率1.7064%(税抜1.58%)を乗じて得た額</p>
<p>その他費用</p>	<p>目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。</p> <p>組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。</p> <p>※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。</p>

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。